

# ・自己評価学校評価結果表

聖ミカエル幼稚園

## 1. 園の教育目標

- 「明るく、正しく、元気の良い光の子どもになりましょう」を目標に本園では次の5項目を掲げ保育がされている
- ・愛する心、思いやる心を育むと同時に自己肯定感を持てる子どもに育成する
  - ・縦割り保育を基礎とし、少人数、家庭的な温かさで保育し、すべての子どもをどの先生も友だち同士も知っていて声を掛け合う
  - ・充分に身体を動かし、たくましく、健康的な子どもを目指す
  - ・絵本の読み聞かせ、手作りの室内コーナー、木の遊具を通し意欲、やる気の育成をはかる
  - ・「世界は皆、友だち」という心で各国の人たちとの国際交流を体験する

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

キリスト教の精神に基づき、年主題を「希望」—愛の中を生きる—とした。教職員間で研修、研究をはかることにより共通の理解を持ち、教育の質を高める。

## 3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	取組み状況
幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。	園の教育理念、教育方針は理解し話し合い、認識を持つことができたが、教育要領に関しては時々見直すことができなかった。職員会議等で共通の認識を持てるようにしたい。
子どもの実態に即した指導計画を作成している。	園の方針を指導計画に生かし予想される生活を考慮したり実態に合わせて自由に変更できるような順応性のあるものになっている。
子どもが安全で楽しく遊びこめる環境の構成をする。	保育室、園庭等の環境設定を常に話し合い、子どもが進んでより豊かに関わりたくなるよう考え進めている。
幼児理解。子どもの良いところを認めて評価しようとしている。	一人ひとりの子どもの良さを認め子どもの思いを受け止め、教師が客観的、公平に子どもを見る目を養うように努めている。
保護者との関係が円滑にいくための取り組みを行っている。	保護者への情報の発信と受信がスムーズに行くよう心がける。相談、要望にも耳を傾け教員全体で共通理解を持つ。
地域や社会との関わりを持つよう努める。	子育て支援や地域開放を知っていただき利用していただくよう努めている。年数回、こちらからも地域の方を訪ねるが小学校との連携は進められないでいる。
保育者としての専門性を高めるための各研修会に積極的に参加する。	各種研修会に参加し、学んだことを会議などにおいて提供し共有化をはかり積極的に取り組んでいる。
人事管理、財務管理を適正に行う。	園の教育目標達成のため、教職員の人事管理また予算、決算、納付金関係、監査も受け適正に処理されているとの報告を受けている。

#### 4. 学校関係者評価委員会の総合的な評価結果

結果	理由
A	園の教育理念や教育目標を、教職員一人ひとりがよく理解し、園のためまた園児のために取り組んでいる様子が見られた。小さな園の良さとして、すべての教職員が家庭的な温かさで園児や保護者の思いを受けとめ接している様子がわかった。いろいろな問題に対しても一丸となり共通理解のもと動き、解決も図っている。より充実した教育、保育を目指して行かれるよう、期待は大きい。地域との関わり、また研修、研究もさらに取り組んで欲しい。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
情報公開	園日より、参観、懇談等を通して保護者への周知徹底に取り組んでいるが更に進んだ情報公開として一般の方が利用しやすいホームページ等の活用も進めて行きたい。
安全管理	園内、園庭を含め遊具、環境等の安全管理をすると共に不審者対策等にも徹底し力をいれるようにする。
特別支援教育	支援が必要な子ども一人ひとりに対応した指導計画作成と共に環境を整え安心して生活、保育が進められるよう整える。また引き続き関係機関との連携を図ったり、巡回指導や具体的指導法について学んでいく。

#### 6. 学校関係者評価委員会の意見

今年度は学校評価初年度と言うこともあって委員会は1回の実施であったが、委員からは、達成されているという評価がなされ、運営も良好であるという評価を受ける。

#### 7. 財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められる。